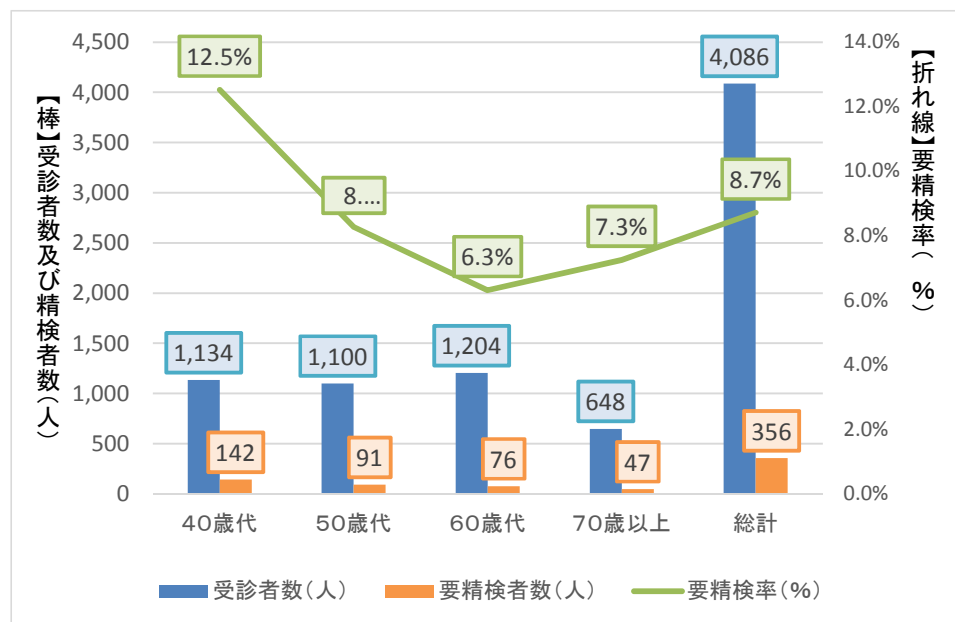


2023年度(令和5年度)大津市乳がん検診実施状況(4~11月現在)

1. 2023年度(令和5年度)精度管理指標値比較

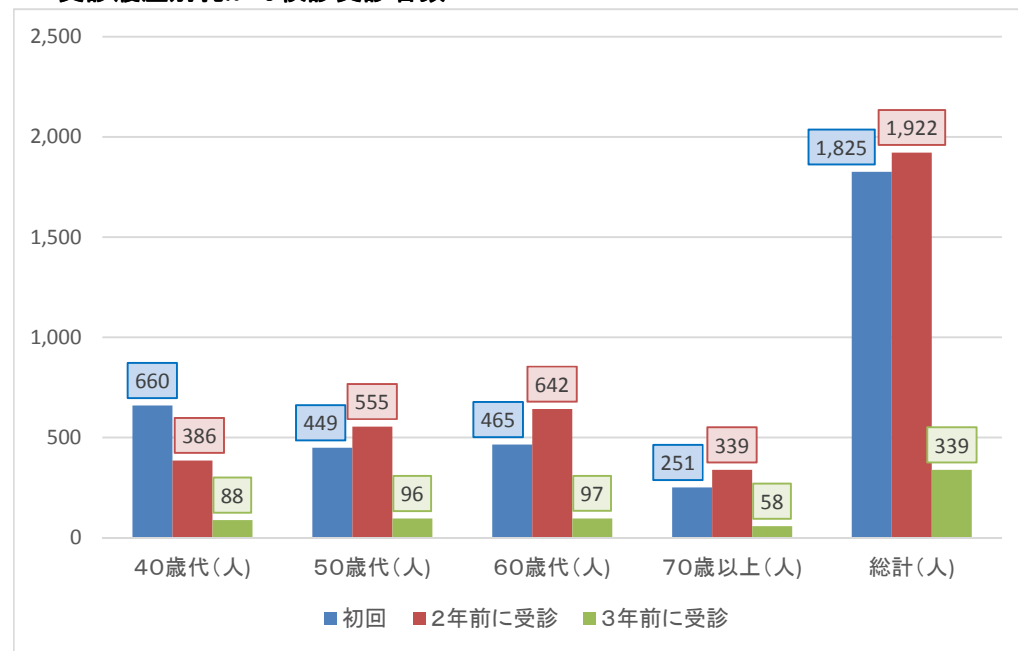
	2023年度	2022年度同時期	
検診受診者数(人)	4,086	3,416	119.6%
要精検者数(人)	356		
要精検率(%)	8.7%	許容値11.0以下	
がん及びがん疑い(人)	21	【再掲】がん疑い7名	

2. 年代別乳がん検診受診者数及び要精検率推移



	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	総計
受診者数(人)	1,134	1,100	1,204	648	4,086
要精検者数(人)	142	91	76	47	356
要精検率(%)	12.5%	8.3%	6.3%	7.3%	8.7%
がん及びがん疑い(人)	3	6	8	4	21
【再掲】がん疑い(人)	0	0	4	3	7

3. 受診履歴別乳がん検診受診者数



	初回	2年前に受診	3年前に受診	合計
40歳代(人)	660	386	88	1,134
50歳代(人)	449	555	96	1,100
60歳代(人)	465	642	97	1,204
70歳以上(人)	251	339	58	648
総計(人)	1,825	1,922	339	4,086

初回受診(%)	
40歳代	58.2%
50歳代	40.8%
60歳代	38.6%
70歳以上	38.7%
総計	44.7%

2023年度(R5年度)乳がん検診ネット予約状況(4月～11月現在)

ネット予約状況	使用者数	枠数	充足率
大津市民病院	216	843	25.6%
大津赤十字病院	89	97	91.8%
JCHO滋賀病院	145	520	27.9%
大津赤十字志賀病院	160	207	77.3%
琵琶湖大橋病院	121	192	63.0%
近江草津徳洲会病院	71	363	19.6%
南草津健診センター	電話予約でのみ受付		
南草津野村病院	電話予約でのみ受付		
淡海医療センター	61	208	29.3%
滋賀もりプレストクリニック	214	2009	10.7%
計	1077	4439	24.3%

※南草津健診センター・南草津野村病院は全ての日程において、乳・子宮セット検診が可能であるため、ネット予約は実施していない(乳・子宮のセット検診は電話予約のみ)。

2023年度(R5年度)年代別ネット予約利用者数及び割合(4月～11月現在)

	使用者数 (人)	年代割合(%) ※1	受診者総数 (人)	受診者総数からの ネット使用割合(%)※2
40歳代	544	50.5%	835	65.1%
50歳代	337	31.3%	828	40.7%
60歳代	170	15.8%	882	19.3%
70歳以上	26	2.4%	480	5.4%
総計	1077	100.0%	3,025	35.6%

2022年度(R4年度)乳がん検診ネット予約状況(4月～11月現在)(参考)

ネット予約状況	使用者数	枠数	充足率
大津市民病院	中止		
大津赤十字病院	88	95	92.6%
JCHO滋賀病院	144	528	27.3%
大津赤十字志賀病院	108	133	81.2%
琵琶湖大橋病院	123	188	65.4%
近江草津徳洲会病院	94	357	26.3%
南草津健診センター	電話予約でのみ受付		
南草津野村病院	11	16	68.8%
淡海医療センター	98	210	46.7%
滋賀もりプレストクリニック	88	282	31.2%
計	754	1809	41.7%

2022年度(R4年度)年代別ネット予約利用者数及び割合(4月～3月)(参考)

	使用者数 (人)	年代割合(%) ※1	受診者総数 (人)	受診者総数からの ネット使用割合(%)※2
40歳代	746	63.3%	1,224	60.9%
50歳代	291	24.7%	868	33.5%
60歳代	129	10.9%	778	16.6%
70歳以上	13	1.1%	479	2.7%
総計	1179	100.0%	3,349	35.2%

※1 使用者数/使用者数の総計×100(%)

※2 使用者数/年代別受診者総数×100(%)

<総評>

ネット予約の充足率が低下しているのは、ネット予約枠の大幅な増加によるものであり、ネット予約件数は毎年増加している。

特に滋賀もりプレストクリニックでは、ネット予約者数が多く、電話と比較してもネット予約の割合が多い。これは、同クリニックが土・日曜日に受診可能であるという点と、ネット予約が可能であるという点が、仕事等で平日昼間に電話や受診が難しい働く世代のニーズを満たしていることによるものと考えられる。

年代割合は、40歳代が最多であるが、年々その傾向は薄れており、各年代に分散してきている。全年代でネット使用割合が増加しており、今後もこの傾向は続くものと考えられる。ネット予約の充足率については余裕があり、ネット予約枠は十分確保できていたと考える。